



2022年2月14日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 賣 間 正 人
 (コード番号5337 東証第1部)
 問合せ先 総務部長 田 中 靖 久
 (TEL (06)4795-5000)

営業外収益、営業外費用の発生及び
 通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年11月12日に公表いたしました2021年12月期通期連結累計期間の業績予想値と実績値との間に差異が生じ、また、当連結会計年度において発生した営業外収益及び営業外費用の発生について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

為替差益

第3四半期連結累計期間において、191百万円の為替差益を計上していましたが、外国為替相場が引き続き円安に推移したことにより当第4四半期連結会計期間においても56百万円の為替差益を計上し、当連結会計年度において為替差益は247百万円となりました。

2. 営業外費用の内容

持分法による投資損失

第3四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社SRE Mortgage Alliance Inc. (当社持分36.8%)の持分法による投資損失26百万円を営業外費用に計上いたしましたが、SRE Mortgage Alliance Inc. の個別決算において減損損失等852百万円を特別損失に計上したことに伴い、当第4四半期連結会計期間において419百万円の持分法による投資損失を計上し、当連結会計年度において持分法投資損失は445百万円となりました。

3. 2021年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,900	△ 930	△ 730	△ 670	△7円08銭
今回発表実績 (B)	5,018	△ 898	△ 1,031	△ 967	△32円61銭
増減額 (B-A)	118	32	△ 301	△ 297	
増減率 (%)	2.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	5,415	△ 1,181	△ 1,230	△ 195	△ 6円60銭

4. 差異の理由

2021年12月期通期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による物件の計画中止及び工期の延長等の影響が期末までに解消できないと見込んでおりましたが、第3四半期以降は回復傾向が見え始め、当第4四半期連結会計期間には前年同連結会計期間を上回る業績となり、売上高128百万円及び営業利益81百万円、前回発表予想値を上回る結果となりました。

不動産事業においては、主要顧客であります海外投資家の日本への渡航制限が依然として継続されており、引き続き投資の実行が困難な状況が続いておりますが、一方で、国内の新規投資家の物件取得にかかる運営管理業務、東京都内のオフィスビル等の媒介業務を受託するなど、ほぼ業績予想通り推移し、売上高12百万円及び営業利益29百万円、前回発表予想値より下回る結果となりました。

住宅金融事業においては、第2四半期連結会計期間において、SRE Mortgage Alliance Inc. が連結子会社から持分法適用関連会社となったことにより、第1四半期連結累計期間で損益が確定しているため、前回発表予想値との差異は僅少であります。

経常利益については、第4四半期において上記の為替差益56百万円及び1月21日に開示いたしました雇用調整助成金16百万円を営業外収益に計上しましたが、持分法による投資損失419百万円を営業外費用に計上することとなり、前回発表予想値を301百万円下回りました。また、第2四半期連結累計期間において持分変動利益25百万円を特別利益に計上しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値を297百万円下回る結果となりました。

以 上